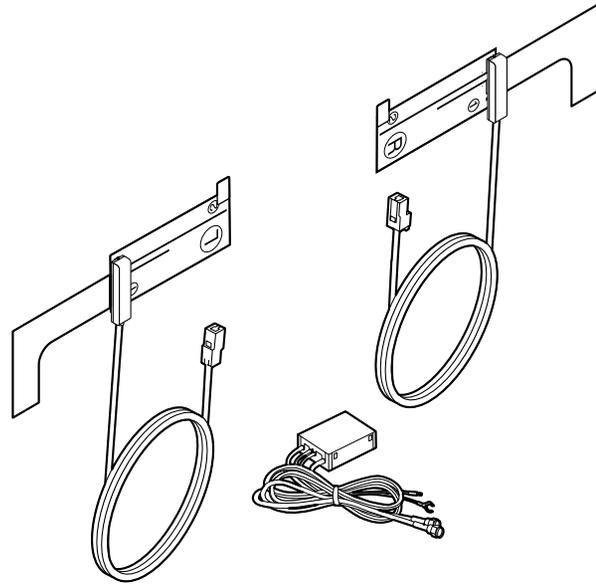


## 取付説明書

ダイバーシティアンテナ  
(地上デジタル用：車室内フィルムタイプ)

品番 TY-CA210DTF  
(DC12V車用)



このたびはパナソニックダイバーシティアンテナをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。  
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

## 警告

■故障や異常のまま使用しないでください

 **禁止** 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となることがあります。

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご依頼ください。

■分解、改造はしないでください

 火災や感電の原因となります。  
**分解禁止**

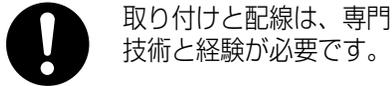
■運転や視界の妨げになる位置に取り付けない

 **禁止** 前方・後方の視界の妨げになる位置など、運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。

# 構成部品 (取り付け前にご確認ください。)

## 警告

■取り付けは専門技術者にご依頼ください



取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

- 安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

■正しく配線を行ってください



誤った接続をすると、火災や故障の原因となります。

- 特にリード線のねじれやシートレールの可動部分にかみ込まないよう整形し固定してください。

■車両に穴を開けるときは裏側に何も無いことを確認してください



裏側を確認しないで穴を開けると車両のワイヤーハーネスとショートして火災や故障の原因となります。

■DC12 Vマイナスアース車で使用してください



DC12 Vマイナスアース車専用です。DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

## 注意

■コードやリード線をかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけないでください



禁止

ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

■ヒューズ交換は専門技術者にご依頼ください



規定以外のヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因となることがあります。

- ヒューズの修理や交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■はり付許容範囲内に取り付ける



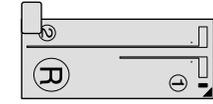
国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法(はり付許容範囲内)にはり付けしないと、道路交通法違反となります。はり付許容範囲内については、本書の「はり付ける位置について」をご覧ください。

■ ( ) は個数です

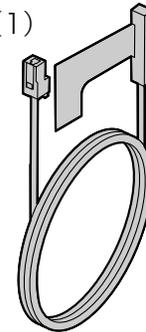
□ フィルムアンテナ [左] …… (1)



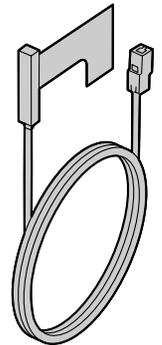
□ フィルムアンテナ [右] …… (1)



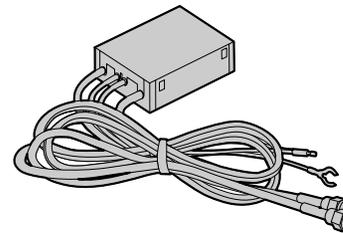
□ アンプ [左] …… (1)



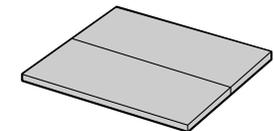
□ アンプ [右] …… (1)



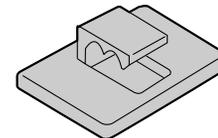
□ 電源ボックス …… (1)



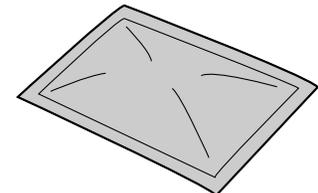
□ 固定用シート …… (1)



□ ケーブルクランパー …… (6)



□ クリーナー …… (1)



# お願い

- このアンテナはパナソニック車載用デジタルチューナー専用です。
- このアンテナはフロントウインドウはり付け専用です。  
フロントウインドウ以外の場所には、はり付けしないでください。
- はり付け・配線をするために、フロントウインドウ周りの内張り（ピラーカバー・ルーフィングなど）を一時的に取りはずす必要がありますので、ご了承ください。
- 受信感を確保するため、給電部のアース部ははり付ける部分（フロントウインドウ周りの金属部：塗装をはがす必要はありません）に必ず接触させてください。
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。

## 次のようなところでは、映りにくいことがあります

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機が通過または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- 放送局から遠いところを走行している場合
- 山かげや木立ちの影に入った場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 自動車、バイク、高圧線、ネオンサイン等の近くを走行している場合
- ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行している場合

# はり付ける際の留意点

一度はり付けると、フィルムの破損や粘着力が弱くなるため、はり直しできません。必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してからはり付けてください。

- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。
  - ・ 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お車をお買いになった販売店に確認してください。
  - ・ ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。
- 必ずフロントウインドウの指定の位置・寸法内にはり付けてください。  
(右記参照)
  - ・ 保安基準※に適合させるため、本書をよくお読みのうえ、正しくはり付けてください。
  - ・ 車体の側面（ドアやフロントクォーターウインドウなど）や、後面（リアウインドウなど）にはり付けると、受信感度が低下する場合があります。  
※保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省（当時）告示第820号をいいます。
- アンテナを接続する機器（テレビやチューナーなど）の説明書も併せてご覧ください。
- ガラス面が乾かないうちはり付けしないでください。エレメントがはり付かなくなります。
- はり付け場所の水分、ホコリ、油、ワックス等をきれいにふきとってください。ケーブルクランプ、電源ボックスはり付け部もふきとってください。
- フロントウインドウ（内側）の汚れ（ごみ、油など）や、くもり止めをふきとってください。

松下電器産業株式会社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号  
(サービス担当) ☎(0466)34-2757

© 2005 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

KY0305-0(MS)  
TQBA0449

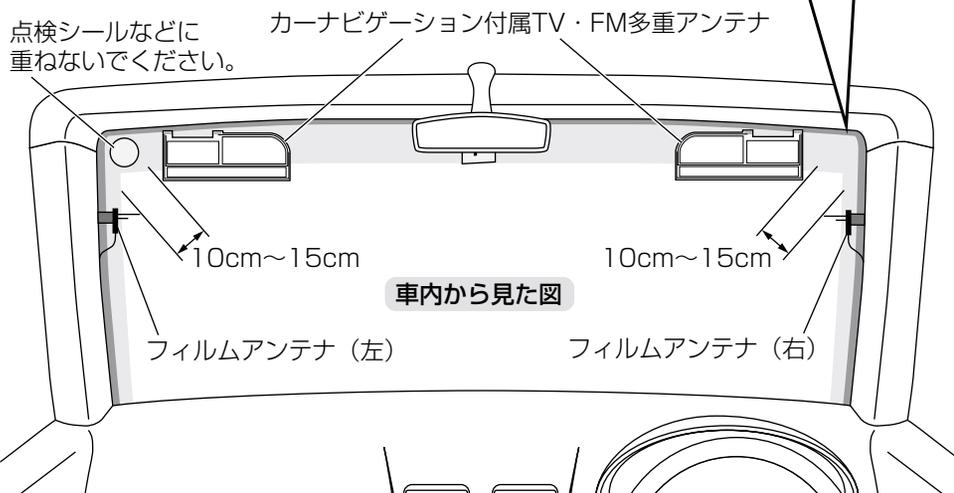
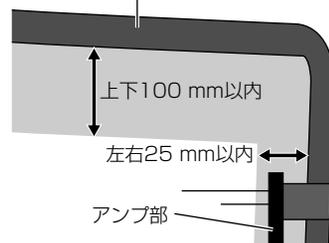
## ■はり付ける位置について

- 保安基準に適合させるため、また、性能を十分に発揮するために、必ず下記の位置にはり付けてください。
- 左ハンドル車にはり付ける場合も、下図のとおりにはり付けてください。(左右逆にはらないでください。)
- 他のアンテナを取り付けている場合、妨害を防ぐため、他のアンテナから本機を10 cm～15cm程度(下図参照)離してはり付けてください。
- フロントガラスに、すでにフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。(指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。)

### ■はり付け許容範囲(■部)について

アンブ部は、必ずはり付け許容範囲内にはり付けてください。また、アース部を車体の金属部に接触させて内張り(ピラーカバーなど)で押える仕様ですので金属部に届く範囲にはり付けてください。はり付け許容範囲外にはり付けると、国土交通省の定める保安基準に適合しません。

セラミックライン(ウインドウの黒い線)の上には貼り付けしないでください。



- 室内のはり付け場所に一度フィルムアンテナをセット(市販のテープなどで仮固定)して、お使いのカーラジオやカーテレビにノイズ等の支障がないかあらかじめ確認してください。ノイズが入る場合はアンテナの位置をずらしてください。

## ■取り扱い上の留意点

- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- はくり紙やフィルムをはがした後は、はり付け面に手をふれないでください。フィルムアンテナの透明シート、電源ボックスの固定シート、ケーブルクランプのはくり紙をはがした後は手をふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。
- フィルムアンテナのフィルムやアンブのはくり紙をはずした後は、給電端子などに手をふれないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
- はり付けたあと、ガラスをふくなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーはがし剤を使わないでください。破損の原因となります。

### ■取扱い注意について

本製品は、可能な限り破損しにくい設計になっていますが、フィルムアンテナという製品の性質上、やむを得ず十分な強度が得られない個所があります。本書では、そういった個所を「取扱い注意」で示しています。

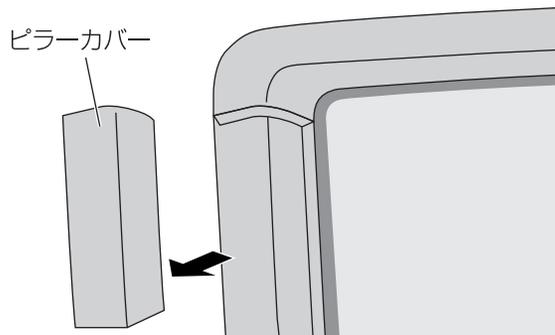
**このマークの個所は、絶対に、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじるなどしないでください。破損の原因になります。**

# フィルムアンテナのはり付け

## 1 はり付け位置の確認

本説明書の表面に記載の「はり付ける際の留意点」を参考に、フロントガラスへのはり付け位置を決め、はり付け面をクリーナー（付属）できれいにふきとります。（ガラスが乾かないうちはり付けしないでください。エレメントがはり付かなくなります。）

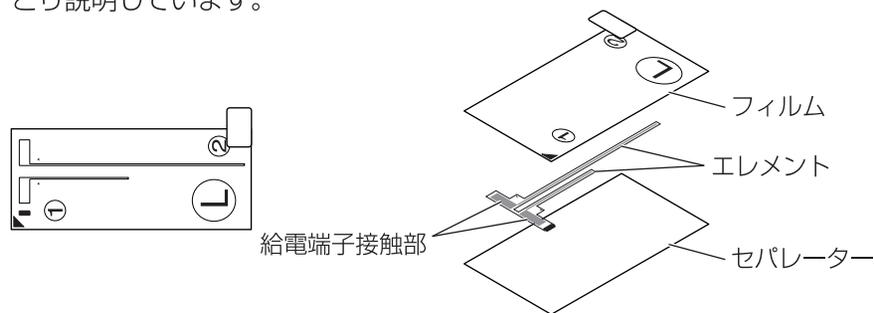
- ピラーカバーを取りはずして、はり付け位置を確認してください。



- 実際の配線を想定して、フィルムやコード類を市販のテープで仮止めして、エレメントやアース部また端子などがはり付けられることを確認してください。フィルムのはり直しはできませんので、必ず行ってください。

## 2 はり付けの準備

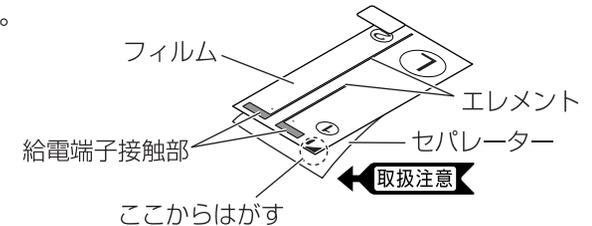
- 下図は左側（L）用のフィルムアンテナです。以降、左側（L）用を例にとり説明しています。



フィルムとセパレーターの間エレメントが挟まれています。エレメントの広い部分が給電端子接触部です。

## ■ セパレーターをはがす

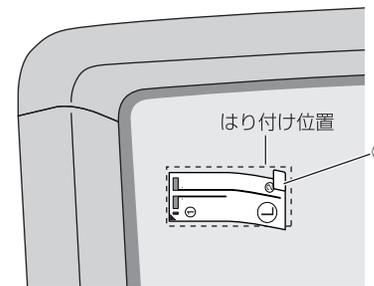
フィルムの▲①部からエレメントがフィルム側に残っていることを確認しながらゆっくりと、セパレーターをはがします。エレメントがセパレーター側に残る場合は、セパレーターを元に戻してエレメント上を強くこすり、再度はがしてください。



### お願い

- フィルムを強く曲げたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。

## 3 フィルムをフロントガラスにはり付ける

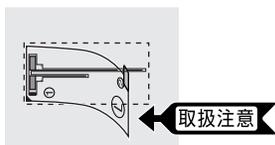


車内から文字が読めることを確認してから、フィルムの端面をガラス面のはり付け位置に合わせ、空気が入ったり、しわが寄ったりしないように注意して、ゆっくりと端からはり付けます。全面はり付け後、エレメント上を強く押えてエレメントをガラスに密着させます。

### お願い

- エレメント部分の押えが不足すると、フィルムをはがすときにエレメントがはがれる恐れがあります。給電端子接触部は空気が残りやすいので念入りに押えてください。
- フィルムの▲②部付近は、次の工程ではがしにくくなるので、あまり密着させる必要はありません。エレメントを中心に強く押します。指で押すことが困難な場合は樹脂ヘラ（市販）などを使用してください。（エレメントのない部分は押さえない方が後の工程の作業性が良くなります。）
- はり付けた状態で車の外側からエレメント上に空気が残っていないことを確認してください。空気が残っている場合は、その部分の空気を押し出してください。

## 4 フィルムをはがす



フィルムの▲②部からゆっくりと、エレメントがガラス面にはり付いていることを確認しながらはがします。フィルムと共にエレメントもはがれる場合は再度フィルムをはり付けてエレメント上を強く押ししてください。



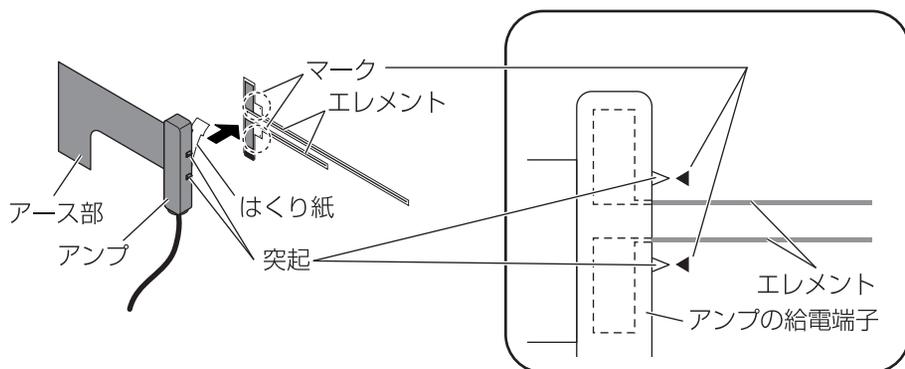
エレメントだけがはり付く

### お願い

- フィルムを▲②部以外のところからはがしたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがありますので、取り扱いに気をつけてください。

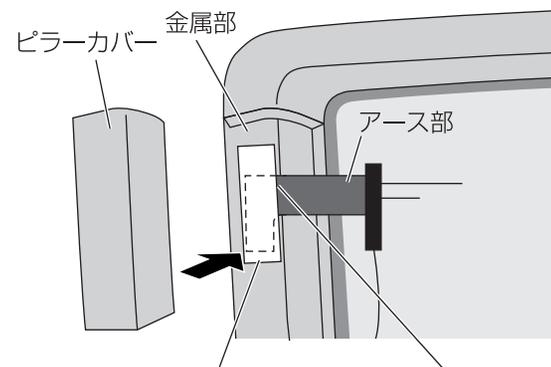
## 5 アンプをエレメントにはり付ける

左側用アンプのはくり紙をはがして、エレメントの給電端子接触部の小さな▲印とアンプの給電端子の先端の突起を合わせてはり付けます。



## 6 アース部を車の金属部に接触させる

- ① アンプのアース部のはくり紙をはがして、ピラーの金属部へはり付けてください。
- ② 付属の固定用シートで固定し、ピラーカバーで押さえてください。



②固定用シートで固定

①裏面のはくり紙をはがしてから、はり付ける

### お願い

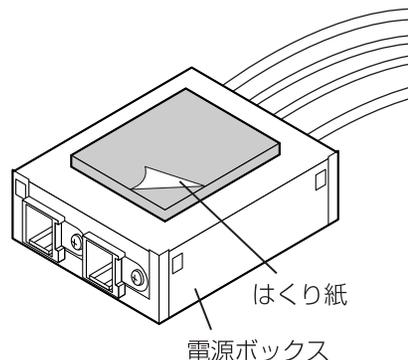
- アース部の接触の際、金属部の塗装を削る必要はありません。
- サイドガラスにアース部がはみ出る場合は、折り曲げてピラー内部に収まるよう市販のテープなどで固定してください。
- 金属部への接触が不十分ですと所期の性能が出ませんので、必ず付属の固定用シートで確実に固定願います。

# 電源ボックスの取り付け

運転操作の支障のないところに電源ボックスを取り付けてください。

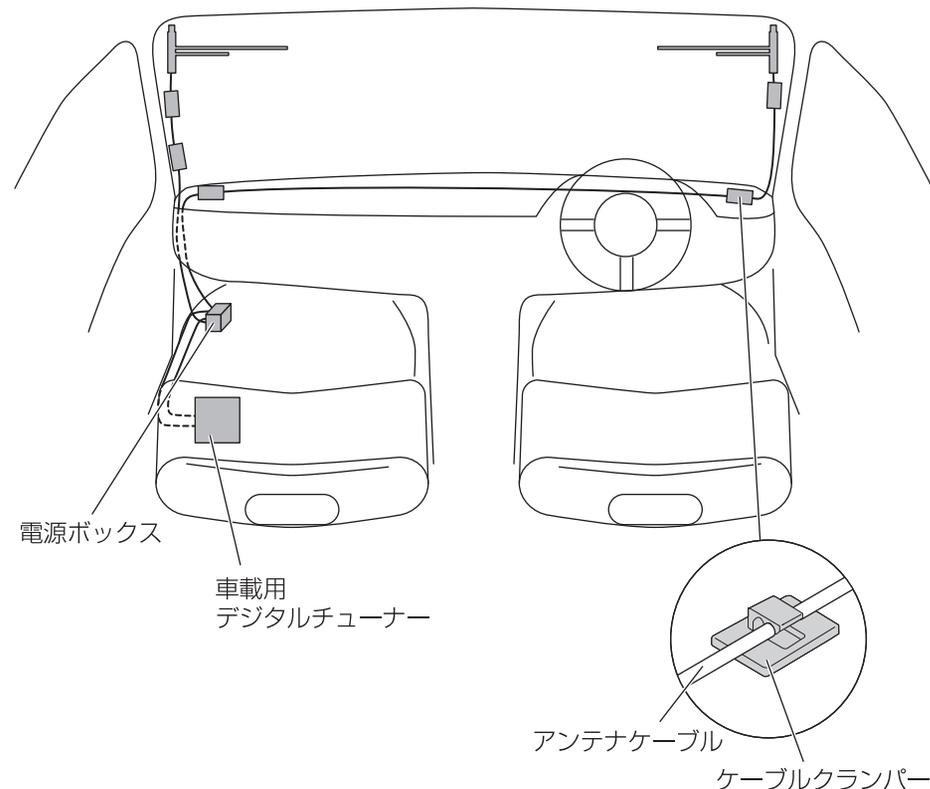
## 電源ボックスの固定

- ① アンテナ本体と当社製車載用デジタルチューナーを接続できるように、取り付ける場所を決める。[アンテナ本体のケーブル（電源ボックスへ接続）は約3 m、電源ボックスの信号ケーブル（チューナーへ接続）は約3.5 mです。]
- ② 電源ボックスを取り付ける面のホコリ、汚れ等をふきとる。
- ③ 電源ボックスのはくり紙をはがし、はり付ける。



# ケーブルの引きまわしかた

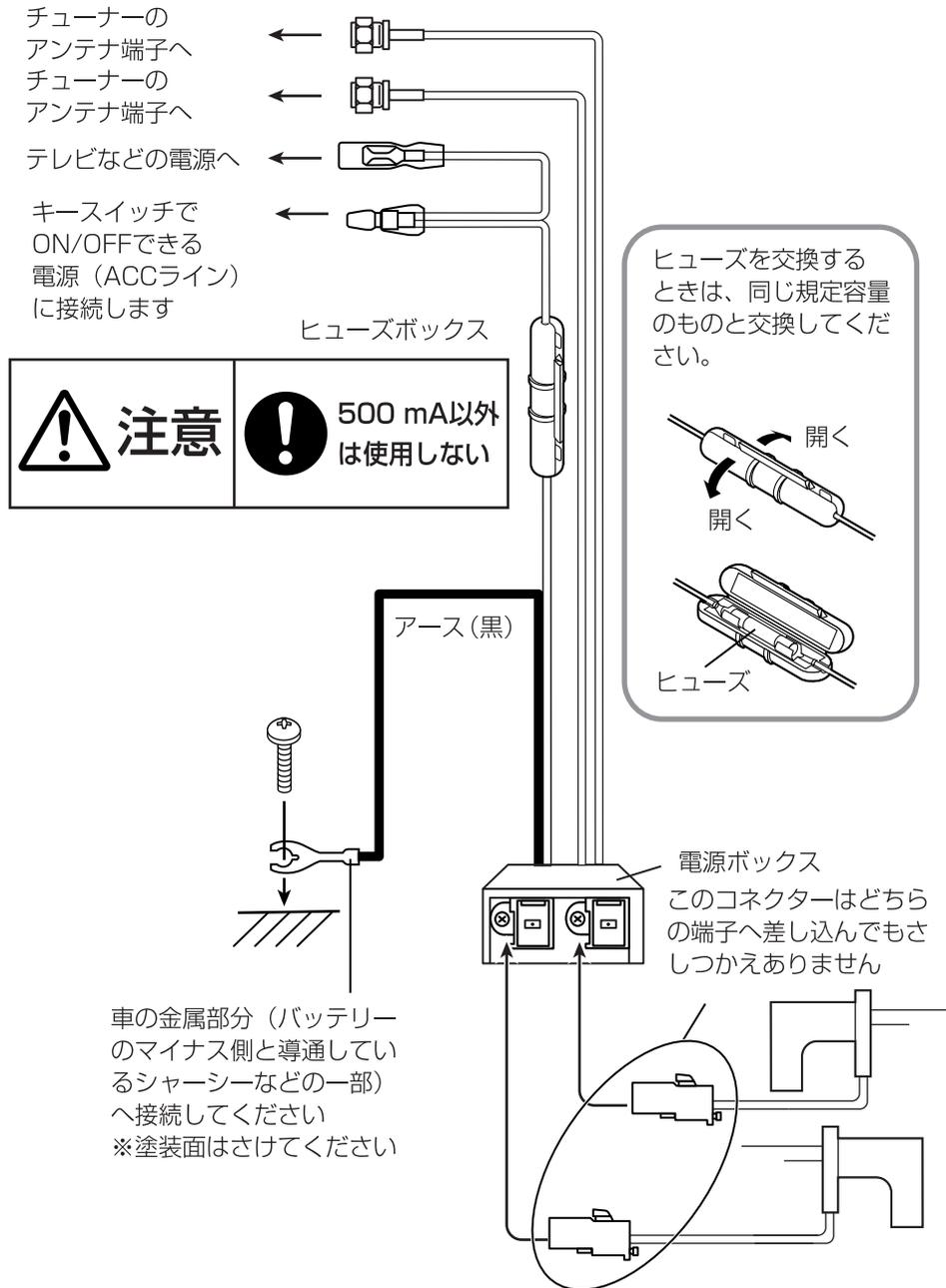
## ■ 車室内から見たウィンドー側のケーブル処理



## お願い

- ケーブルはふまれたり、はさまれたりしない所を通し、ケーブルクランパーや市販のテープで固定してください。また、ケーブルのたるみなどは束ねて固定してください。（いすを前後に移動してもケーブルが破損しないよう、ケーブルを引き回し、固定してください。）

# 接続のしかた



# 仕様

## ■ アンテナ部

受信チャンネル	UHF (13ch~62ch)
出力インピーダンス	75 Ω
はり付け場所	フロントウインドウ
本体全長	100 mm

## ■ アンブ部

消費電流	25 mA×2
利得	9 dB以上
周波数範囲	470~770 MHz
ケーブルの長さ	約 3.0 m

## ■ 電源ボックス部

使用電源	DC 12 V
外形寸法	46 mm(幅)×20 mm(高さ)×55 mm(奥行き)
電源コードの長さ	約1.5 m
信号ケーブルの長さ	約3.5 m

質量	約 500 g (一式)
----	--------------

※ 仕様および外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更する場合があります。